令和９（2027）年度

博士課程前期２年の課程学生募集要項

（令和９（2027）年４月入学）

〔 一 般 選 抜 （ 第 2 次 募 集 ） 〕
〔早期卒業制度による卒業者を対象とする特別選抜〕

令和８（2026）年 10 月

東北大学大学院工学研究科

【工学研究科の入学者選抜方針（博士課程前期２年の課程)】

◇アドミッション・ポリシー

東北大学大学院工学研究科は，自然と人間に対する深い知識と広い視野を基本とし，安全安心で豊かな社会の実現のために倫理観と気概をもって自ら考えて研究を遂行し，将来の科学技術の発展と革新を担うことができる豊かな創造性と高い研究能力を有する研究者の養成，並びに高度な専門的知識のみならず長期的な展望や国際的な視野を備え，社会の持続的発展に貢献できる中核的専門技術者の育成を目指します。

具体的には，創造性と高い研究能力を有する研究者や社会の持続的発展に貢献できる中核的専門技術者を志す，次の学力および能力をもつ人を求めます。

1. 工学を学ぶための基礎学力
2. 問題解決のための論理的思考能力
3. 教育・研究環境に適応し，国際的に活躍するための語学力

このため，学生の受け入れにあたっては，一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生等特別選抜，推薦入学特別選抜，９月卒業見込者・既卒者を対象とする選抜，早期卒業制度による卒業者を対象とする特別選抜，および英語による教育を提供する国際学位コースに関する選抜の枠を設けて入学試験を実施し，上記の教育理念・目標に沿った研究を行うために必要な高い能力と資質を備えているか否かを重視して選抜を行います。

一般選抜及び早期卒業制度による卒業者を対象とする特別選抜では，選抜の実施単位である系・専攻ごとに工学に関する基礎知識と専門的知識を評価する筆記試験等および入学者としての適性を見るための面接試験等を適宜組み合わせて行い，語学力を合わせて総合的に評価して選抜を行います。

なお，入学前に，専門分野の高度な知識を習得し研究を行うために必要な基礎学力を身につけておくことを希望します。

◇教育目的および教育目標

工学研究科は，東北大学の伝統である「研究第一主義」,「門戸開放」,「実学尊重」の理念の下，自然と人間に対する深い知識と広い視野を基本とし，安全安心で豊かな社会の実現のために倫理観と気概をもって自ら考えて研究を遂行し，将来の科学技術の発展と革新を担うことができる豊かな創造性と高い研究能力を有する研究者の養成，並びに高度な専門的知識のみならず長期的な展望や国際的な視野を備え，社会の持続的発展に貢献できる中核的専門技術者の育成を教育目的とする。具体的には，前期課程にあっては，研究遂行に必要な幅広い基礎学力と語学力を習得し，研究課題を独自の発想によって展開させ，論文等として発表する能力を備えるとともに，専門分野における研究能力，あるいは研究・技術指導のための基本的能力と高度な技術を有する人材を育てることを教育目標とする。

◇ディプロマ・ポリシー

東北大学工学研究科では，所定の期間在学し，工学研究科の教育目的及び教育目標に沿って設定された授業科目を履修して，所定の単位以上を修得し，高い倫理観と責任感，そして以下の知識と能力を身につけた上で，修士論文または特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格した学生に対して，修士（工学）の学位を授与する。

1. 研究課題の本質を理解し探究できる幅広い基礎知識と基礎学力

2. 専門分野に関する深い知識
3. 専門分野に関連した学際的知識
4. 異なる専門分野の知識の統合によるシステム設計能力
5. 研究の課題設定と課題解決能力
6. 研究の高度な実践能力と応用展開能力
7. 研究の遂行に必要な語学力
8. 研究指導または技術指導のための基本的能力

◇カリキュラム・ポリシー

東北大学工学研究科では，ディプロマ・ポリシーで示した知識と能力を学生が身につけることができるよう，以下の方針に沿って教育を行う。

1. 研究課題の本質を理解し，研究を遂行，展開するために必要な幅広い基礎知識，高度な専門知識及び専門分野に関連した学際的知識を修得させる。
2. 研究課題に対する高度な実践能力，その研究課題を独自の発想によって展開できる能力を育成する。
3. 研究の遂行及び研究成果を発表するのに必要な語学力を育成する。

上記の方針を実践するため，工学研究科全体で共通科目を開講するとともに，専攻ごとに専門基盤科目，専門科目，関連科目を設定し，カリキュラムマップにより教育課程の全体像を把握できるようにしている。専門基盤科目は主に講義形式で提供し，専門科目は講義形式の他，セミナー，修士研修等で構成されている。講義形式の科目は，各専攻における幅広い基礎知識および高度な専門知識を修得させる目的で提供し，科目ごとに教授内容，達成方法，時間外学修の指針等を明示したシラバスを作成している。セミナー科目は最新技術あるいは自身の研究成果に関する発表および討論を通して当該分野の研究課題を俯瞰する力や研究の実践力を養成する。修士研修は個別の課題に関する研究と修士学位論文の執筆を通して高度な研究を実践する能力と展開力および語学力を養う。

講義科目では，定期試験やレポート等の手段により基礎知識，基礎学力，専門知識等を講義担当教員が評価する。成績評価方法の詳細については科目ごとにシラバスに記載している。セミナー科目では発表や討論を通して学術論文や技術資料を理解する能力を当該専攻の教員が評価する。修士研修では研究室における研究活動，国内外の学会における発表，修士学位論文および審査会における議論の内容を基に，独自の発想により研究課題を展開させ遂行する能力，学会における研究発表や討論の能力，外国語によるプレゼンテーション能力，演習・実験の補助能力，学術報告書の作成能力等を指導教員が評価する。

1　募集する専攻及び募集人員

○　**一般選抜（第２次募集）**

専　攻　名	募集人員	専　攻　名	募集人員
量子エネルギー工学専攻	若干名	技術社会システム専攻	若干名

○　**早期卒業制度による卒業者を対象とする特別選抜**

専　攻　名	募集人員	専　攻　名	募集人員
機械機能創成専攻	若干名	応用化学専攻	若干名
ファインメカニクス専攻	〃	化学工学専攻	〃
ロボティクス専攻	〃	バイオ工学専攻	〃
航空宇宙工学専攻	〃	材料科学系３専攻 金属フロンティア工学専攻 知能デバイス材料学専攻 材料システム工学専攻	〃
量子エネルギー工学専攻	〃		
電気エネルギーシステム専攻	〃		
通信工学専攻	〃	土木工学専攻	〃
電子工学専攻	〃	都市・建築学専攻	〃
応用物理学専攻	〃	技術社会システム専攻	〃

2　出願資格及び選抜要件

◎　**一般選抜（第２次募集）**に出願できる者は，下記の（１）～（１０）のいずれかに該当する者とします。

◎　**早期卒業制度による卒業者を対象とする特別選抜**に出願できる者は，３年以上４年未満の在学をもって卒業を認められ，令和９（２０２７）年３月に大学を卒業見込みの者とします。

（１）　大学を卒業した者及び令和９（２０２７）年３月までに卒業見込みの者

（２）　大学改革支援・学位授与機構より学士の学位を授与された者及び令和９（２０２７）年３月までに学士の学位を授与される見込みの者

（３）　外国において，学校教育における１６年の課程を修了した者及び令和９（２０２７）年３月までに修了見込みの者

（４）　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者及び令和９（２０２７）年３月までに

修了する見込みの者

（５）　我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和９（２０２７）年３月までに修了する見込みの者

（６）　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって我が国において，外国の大学の課程を有するものとして文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和９（２０２７）年３月までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者

（７）　専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和９（２０２７）年３月までに修了する見込みの者

（８）　文部科学大臣の指定した者（昭和２８年文部省告示第５号）

（９）　学校教育法第１０２条第２項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって，本大学院においてその教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者

(10)　本大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，２２歳に達したもの

［注１］　出願予定の者のうち，本学に教員又は職員として雇用されていて，かつ，入学後も引き続き本学に勤務する者については，令和８（２０２６）年１２月４日（金）までに工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

［注２］　出願資格（６）によって出願しようとする者は，事前に工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

［注３］　出願資格（９）～（１０）によって出願しようとする者は，出願資格審査を行いますので，事前に志望する系・専攻の事務室（別表備考欄参照）へ問い合わせてください。

［注４］　本研究科は，「大学に３年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む）であって，本大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの」に関する出願資格は適用しません。

3　オンライン出願手続方法及び出願期間

オンライン出願のおおまかな流れは，次のとおりです。

1　募集要項の確認・必要書類の取得

・本募集要項で，出願資格（１～２ページ）や出願に必要な書類（４～６ページ）等をよく確認してください。

・出願書類の「卒業（見込）証明書」，「成績証明書」等の証明書類は，事前に在籍（出身）大学等に発行を依頼してください。

2　検定料の支払い

・本募集要項５～６ページの指示に従い，ATM（金融機関，コンビニエンスストア）やインターネットバンキング等をご利用のうえ，指定された銀行口座に振り込んでください。支払う際には所定の手数料がかかります（志願者負担）。

・振込後，ATM の利用明細（写），インターネットバンキングの振込完了画面のコピー等，振込先口座情報，金額，振込日，振込依頼人名等がわかるものを「検定料納付確認書」に貼り付け，そのスキャンデータを下記の出願登録サイトでアップロードしてください。

3　出願登録サイト（The Admissions Office）で出願登録

・The Admissions Office（以降，TAO と表記します。）のウェブサイトにアクセスし，アカウント作成後，志願者の情報等の必要事項を入力してください。

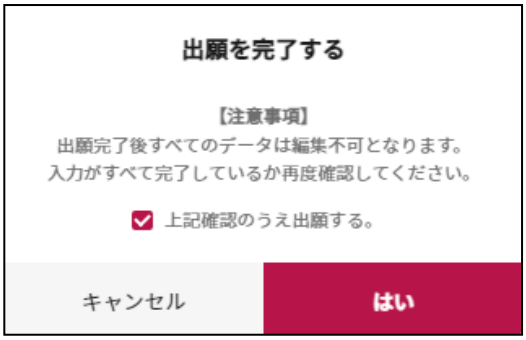
https://admissions-office.net

・証明書等のアップロードも出願登録時に行います。

・**登録後は，登録した内容は変更できません**。登録するときは，誤りのないように，確認しながら慎重に行ってください。

・一時保存の機能がありますので，確認などに有効に利用してください。

・出願手続は，検定料の納入を経て，インターネット上で出願情報を登録することで完了します（同時にシステムから出願完了のメールが届きます）。なお，出願完了後は，TAO の「出願一覧」画面で該当の選抜が「完了済」タブに表示されているか確認してください。





出願期間：令和9（2027）年1月6日（水）9:00～1月14日（木）16:00（日本時間）

下記の手順に従い，期間内に出願手続きを行ってください。

【出願手順及び留意事項】

1．下記 URL にアクセスし，必要事項を入力してアカウントを作成してください。

https://admissions-office.net/portal/

2．アカウント作成後，上記 URL からログインし，「募集検索」メニューで「東北大学/工学研究科/博士前期２年の課程/４月入学（一般２次・早期卒業）」を検索し，TAO 及び本募集要項の指示に従って出願してください。

3．ファイルの提出が必要な場合は，PDF ファイルに変換し，出願フォームにアップロードしてください。

また，提出が認められる証明書は原則として日本語又は英語のものとします。

上記の取り扱いが困難な場合は，出願前に工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

※一度提出した出願書類の差替え等は一切認めません。

※受付後の出願取下げは認めません。

※出願書類に虚偽の申告をした者については，入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

※試験に合格して入学する者は，入学手続時に「成績証明書」「卒業（又は修了）証明書」（ただし，本学工学部卒業者は提出不要）及び出願時に PDF ファイルで提出した英語スコアシートの原本を提出することが求められます。（TOEIC デジタル公式認定証を提出している場合を除く。）また，出願資格（２）で出願した者（例：高専又は短大専攻科修了（見込）者 他）は「学位授与証明書」も併せて提出することが求められます。TAO にアップロードした書類と，入学手続時に提出した原本の内容に相違がある場合，あるいは各種証明書の原本を提出できない場合は，書類不備として入学許可を行わないことがあります。

提出書類等	摘　　要
入　学　願　書	TAO の入学願書フォームに必要事項を入力してください。
履　歴　書	下記URL から所定の履歴書ファイルをダウンロードしてください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/master.html
成　績　証　明　書	出身大学の学部長等が発行するもの。 （ただし，本学工学部の学部生として在学している者は提出不要です。） ＊機械系 4 専攻（機械機能創成専攻，ファインメカニクス専攻，ロボティクス専攻，航空宇宙工学専攻）に志願する者のうち、本学機械知能・航空工学科を卒業（見込）でない者は、GPA 付の成績証明書を提出してください。GPA 付の成績証明書を提出できない場合は，工学研究科機械･知能系事務室教務担当（kc-kyomu@grp.tohoku.ac.jp）まで別途お問い合わせください。

	本学機械知能・航空工学科を卒業（見込）の者については，大学側で確認を行いますので提出不要です。
英語スコアシート 有効となる試験: ・TOEFL iBT® ・TOEIC® Listening & Reading 公開テスト ・IELTS-Academic module （量子エネルギー工学専攻と応用物理学専攻志願者のみ提出可）	国際機械工学コース(IMAC-U)から早期卒業制度による卒業者を対象とする特別選抜の機械機能創成専攻，ファインメカニクス専攻，ロボティクス専攻，航空宇宙工学専攻を志願する者は提出不要です。 ・入学試験実施日から２年以内に受験したもののみ提出が認められます。 ・TOEFL iBT®において Test Date スコアのみを利用します。（MyBest™スコアは利用しません。） ・TOEFL iBT® Home Edition の提出については，専攻により対応が異なります。本募集要項の別表にてご確認ください。 ・日本国内で実施された TOEIC® Listening & Reading 公開テストのスコア提出については，デジタル公式認定証のみ受け付けます。 ・一度提出したスコアシートの差替え等は一切認めません。 ※TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITP および TOEIC はエデュケーショナル・テスティング・サービス（ETS）の登録商標です。
卒業（見込）証明書又は修了（見込）証明書	出身大学の学部長等，短期大学長又は高等専門学校等の学校長が発行するもの。
学位授与（見込）証明書又は学位授与申請（予定）証明書	大学改革支援・学位授与機構が発行するもの，もしくは短期大学長又は高等専門学校長が発行する学位授与申請（予定）証明書。 （ただし，出願資格（２）による志願者のみ）
受験票・写真票	下記URLから所定の受験票・写真票ファイルをダウンロードしてください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/master.html 写真票には上半身無帽像で３か月以内に撮影した写真の画像ファイルを含めてください。
住民票	**本邦に在留する外国人の方**(在留期間が９０日を超える者)**のみ**提出してください。 (出願日前３か月以内に発行されたもので個人番号（マイナンバー）の記載がなく，在留資格が明記されたもの)
検定料 ３０，０００円を右記により支払いのうえ，**「検定料納付確認書」を提出**すること。	① 下記URLから所定の検定料納付確認書ファイルをダウンロードしてください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/master.html ② 検定料は，ATM(金融機関，コンビニエンスストア)やインターネットバンキング等をご利用のうえ，下記により納入し，ATMの利用明細（写）又はインターネットバンキングの振込完了画面のコピーを検定料納付確認書に貼り付けてください。 ※**振込依頼人名は，必ず志願者本人のカナ氏名**を登録すること。 ※**振込先口座情報，金額，振込日，振込依頼人名等がわかるもの** ※振込手数料については，志願者本人負担となります。 金　　額：３０，０００円 納入期間：１月１日（金）～１４日(木)【期限厳守】 銀　　行：三菱 UFJ 銀行　銀行コード：０００５ 支　　店：わかたけ支店　　支店コード：８０９ 預金種別：普通

	口座番号：２２５９２２５ 口座名義：国立大学法人東北大学 カ　　ナ：ﾀﾞｲﾄｳﾎｸﾀﾞｲｶﾞｸ ③ 国費外国人留学生及び入学検定料免除申請者は納付不要です。災害の被災者に対する入学検定料の免除については，次のウェブサイトをご参照ください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/disaster.html ④ 上記の口座は海外送金に対応しておりません。海外から検定料を支払う場合はクレジットカード等で対応できますので，出願期間の前日まで大学院教務係(10 頁参照)までご連絡ください。
あ　て　名　票	TAOのあて名票フォームに必要事項を入力してください。
受　験　承　諾　書	**【※在職のまま入学する者のみ提出願います。】** 在職期間，職務内容，身分を記載し，所属長の発行したもの。 （社印等のあるもの・様式随意）
◎次の書類は機械系４専攻（機械機能創成専攻，ファインメカニクス専攻，ロボティクス専攻，航空宇宙工学専攻）と量子エネルギー工学専攻の志願者のうち，早期卒業制度による卒業者を対象とした特別選抜を受験する者のみ提出願います。	
承　諾　書	本研究科所定の様式を用い，受入れ予定教員が作成したもの。 下記 URL から所定の承諾書ファイルをダウンロードし，事前に受入れの承諾を得ている本研究科の受入れ予定教員に作成してもらったものを提出してください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/master.html
◎下記２点の書類は外国人留学生及び外国の大学で学校教育を受けた者のみ提出願います。	
確　認　書	本研究科所定の様式で受入れ予定教員又は専攻長が作成したもの。 （研究計画等を確認していることを記したもの） 下記URLから所定の確認書ファイルをダウンロードし，事前に受入れの承諾を得ている本研究科の受入れ予定教員又は専攻長に作成してもらったものを提出してください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/master.html ＊化学・バイオ系３専攻（応用化学専攻，化学工学専攻，バイオ工学専攻）を志願する者は，工学研究科化学・バイオ系事務室（che-kyom@grp.tohoku.ac.jp）に確認書の作成について別途問合せてください。
日本語能力試験等の証明書または日本語教員・指導（予定）教員等が作成した志願者の日本語能力を示す書類（様式随意）	機械系４専攻（機械機能創成専攻，ファインメカニクス専攻，ロボティクス専攻，航空宇宙工学専攻）の志願者は提出してください。 上記以外の専攻を志願する者は提出不要です。

前記のほか，学力を表す論文・報告書又は教員の推薦書等の提出を希望する場合は，その他書類として出願フォームにアップロードしてください。

4　選 抜 方 法 等

入学者の選抜は，別表に記載されている試験科目の結果及び提出書類等を総合して判断します。

試験日時：令和９（２０２７）年３月２日（火）から３月４日（木）までの間に別表によって行います。

試験場所：東北大学大学院工学研究科（詳細については，各専攻から本人あてに通知します。）

［注意］同じ試験日程で行われる複数の選抜（例：早期卒業対象者特別選抜と外国人留学生等特別選抜等）を受験することはできません。

5　合 格 者 発 表

令和９（２０２７）年３月１０日（水）１７時頃に東北大学工学研究科・工学部ウェブサイト（https://www.eng.tohoku.ac.jp）に発表する予定です。

なお，合格者に対しては，合格通知書を TAO 上で通知します。電話による問い合わせには回答できません。

※システム障害等のやむを得ない事情により，上記の方法での発表や通知が困難となった場合は，方法を変更することがあります。

6　入 学 手 続 等

（１）　入学手続は，令和９（２０２７）年３月中旬に Google フォームで書類を提出する方法で実施の予定です。詳細については，令和９（２０２７）年３月中旬にメールでお知らせします。

（２）　入学時の必要経費

①　入学料　　282,000 円（予定額）

②　授業料

日本人学生等　：前期分 267,900 円（年額 535,800 円）（予定額）

外国人留学生※：前期分 450,000 円（年額 900,000 円）（予定額）

※出入国管理及び難民認定法（昭和二十六年政令第三百十九号）別表第一の四の表の留学の在留資格をもって在留する者をいう。

注１　上記の納付額は予定額であり，納付金の改定が行われた場合には，改定時から新しい納付金額が適用されます。

注２　入学料及び授業料の納付に関しては，令和９（２０２７）年３月中旬にメールでお知らせします。また，免除，徴収猶予等の手続きに関しては，東北大学のウェブサイト（https://www.tohoku.ac.jp）にアクセスし，「受験生」→「入学料及び授業料等免除」の順にクリックしてご覧ください。

7　長期履修学生制度の適用

本研究科では，特別の事情［注１］によって，標準修業年限である２年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し，修了する［注２］ことを願い出た者については，審査の上許可することがあります。この制度の適用者は「長期履修学生」といい，当該学生の授業料支払総額は，標準修業年限による修了者と同額です。この制度に関する照会は随時受け付けますので，工学部・工学研究科教務課大学院教務係に問い合わせてください。

入学時に長期履修学生制度の適用を希望する者は，入学手続期間中に申し出の上，所定の申請手続きを行う必要があります。

［注１］　該当者：①　企業等に勤務している者及び自ら事業を行っている者
②　出産・育児，介護等を行う必要がある者
③　その他，本研究科が適当と認める者（経済的な理由を除く。）

［注２］　長期履修期間は４年を超えることはできませんが，許可された長期履修期間の短縮を願い出ることはできます。

なお，長期履修学生のためのカリキュラムは，原則として特別に用意しません。

8　個人情報の取扱いについて

（１）　本学が保有する個人情報は，「個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号)」等の法令を遵守するとともに，「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」」等本学の関係規程に基づき厳密に取り扱い，個人情報保護に万全を期しています。

（２）　入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は，入学者の選抜，入学手続，入学前教育，追跡調査等，入学後の学生支援関係（奨学，授業料免除及び健康管理等)，修学指導等の教育目的及び授業料徴収等の関係，並びに調査・研究（入試の改善や志望動機の調査・分析等。入学者については，入学後の個人情報と併せて分析することを含みます。）に利用します。

（３）　入試・教務関係の業務については，本学から業務委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）が行うことがあります。業務委託に当たって個人情報の全部又は一部を受託業者に提供する場合には，「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき適切な取り扱いがなされるよう，必要な措置を講じます。

９　教育・学習データ利活用について

本学では，「教育・学習データ利活用宣言」，「東北大学教育・学習データ取扱８原則」，「教育・学習データ利活用ポリシー」を定め，個人情報保護に留意しつつ，教育・学習活動において情報システム等に蓄積された個人情報を含むデータ（以下，「教育・学習データ」という。）を有効かつ適正に利活用しています。入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は，入学後，教育・学習データに統合して取り扱います。

URL：https://www.tohoku.ac.jp/japanese/studentinfo/education/08/education0801/

１０　注　意　事　項

（１）　「研究室案内（各専攻の専門分野等を掲載）」は，東北大学工学研究科・工学部ウェブサイト（https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/master.html）に掲載していますので，出願の際には必ず確認してください。

（２）　出願書類及び検定料は返付しません。

（３）　受験票が試験日１０日前になっても到着しない場合は，志望した系・専攻の事務室（別表備考欄参照）に問い合わせてください。

（４）　募集事務に関することは，工学部・工学研究科教務課大学院教務係に問い合わせてください。

（５）　受験及び修学上の配慮を必要とする入学志願者のための相談を行っていますので，相談を希望する者は，次の事項を記載した申出書（様式任意）を提出してください。申出書の提出を理由として，合否判定の際に不利に扱われることはありません。

＊相談の期限：原則として令和８（２０２６）年１１月２７日（金）まで

＊申出書に記載する内容

①　志願者の氏名・住所・電話番号

②　出身大学等

③　受験上の配慮を希望する事項

④　修学上の配慮を希望する事項

⑤　これまで認められたことのある配慮の内容

⑥　日常生活の状況

⑦　その他参考となる資料（現に治療中の者は，医師の診断書を添付）

（６）　本学では，外国為替及び外国貿易法に基づき，国立大学法人東北大学安全保障輸出管理規程を定め，外国人留学生等の受入れに際し審査を実施しています。規制事項に該当する場合は，希望する教育が受けられない場合や研究テーマに制約がかかる場合があります。

（７）　試験当日に，学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ，麻しん，新型コロナウイルス感染症等）にかかり治癒していない者は，他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので，受験を認めません。ただし，病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められた者は，この限りでありません。なお，本学では上記理由による追試験は行いません。受験者の皆さんは、試験当日に万全の体調で試験に臨めるよう、感染予防・健康管理に十分ご留意願います。

令和８（２０２６）年１０月

東北大学大学院工学研究科
（工学部・工学研究科教務課大学院教務係）
〒980-8579　仙台市青葉区荒巻字青葉６－６－０４
電話（022）795-5820
e-mail：eng-in@grp.tohoku.ac.jp

別表　（前期２年の課程：令和９（２０２７）年４月：一般選抜（第２次募集））

専　攻	試験科目	試験日時	試験内容	備　考
量子エネルギー工学専攻	英　　語		TOEFL iBT®, TOEIC® Listening & Reading 公開テストまたは IELTS-Academic module のスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT® Home Edition のスコアシートの提出も認める。 英語を母語とする志願者は，出願前に問い合わせること。	(1) 成績証明書等の内容によって，筆答試験及び面接を免除することがある。 免除対象となる受験生には個別に連絡する。 (2) 各科目の出題範囲については以下のウェブサイトで確認すること。 https://www.qse.tohoku.ac.jp/admission/admission_graduate.html (3) 電卓及び計算機能，通信機能のある時計や電話機などの持ち込みを認めない。 (4) 専門科目の選択，筆答試験及び面接の言語（日本語または英語）を出願時に申告すること。試験時に申告と異なる選択はできない。 (5) 選択可能な研究室については出願前に以下のウェブサイトで確認すること。 https://www.qse.tohoku.ac.jp/news-archive-list/ 専攻照会先： 機械･知能系事務室教務担当 Email:kc-exam@grp.tohoku.ac.jp
	数 学 A	3 月 2 日（火） 10 時 00 分～11 時 30 分 (集合時間 9 時 30 分)	微積分，線形代数，ベクトル解析	
	数 学 B	3 月 2 日（火） 13 時 00 分～14 時 30 分	常微分方程式，偏微分方程式，フーリエ変換・級数，ラプラス変換	
	専門科目	3 月 3 日（水） 10 時 00 分～11 時 30 分 (集合時間 9 時 30 分)	流体力学，電磁気学，量子力学，材料力学，放射線基礎 以上の５科目から２科目を選択。	
	面　　接	3 月 4 日（木） (集合時間は専攻より指示する)	入学者としての適性	
技術社会システム専攻	英　　語		TOEFL iBT® または TOEIC® Listening & Reading 公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT® Home Edition のスコアシートの提出も認める。	(1) 成績証明書の内容によって，筆答試験の一部を免除することがある。 (2) 口頭試問の日時・場所は，専攻より別途通知する。 専攻照会先： 技術社会システム専攻事務室 (TEL) 022-795-3863 専攻ウェブサイト： https://www.most.tohoku.ac.jp
	小 論 文		一般常識及び本専攻がカバーする専門分野とそれに関する社会問題を題材とした小論文によって，本専攻での修学にふさわしい論理的思考力，表現力，基礎学力を有しているかを評価する。 出願者に別途，選択式のテーマを送付するので，指定の期日までに提出すること。	
	口頭試問	3 月 2 日（火）　～ 3 月 4 日（木）	小論文の内容について発表。小論文と発表の内容に対して試問を行う。また，基礎学力，及び入学後の研究分野の適性についても評価する。口頭試問の時間は１人あたり 30 分程度である。	

別表　（前期２年の課程：令和９（２０２７）年４月：早期卒業制度による卒業者を対象とする特別選抜）

<table>
<tr><th>専　攻</th><th>試験科目</th><th>試験日時</th><th>試験内容</th><th>備　考</th></tr>
<tr><td rowspan="5">機械機能創成専攻
（航空宇宙工学専攻、ロボティクス専攻、ファインメカニクス専攻）</td><td>英　語</td><td></td><td>TOEFL iBT®またはTOEIC® Listening & Reading 公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。
TOEFL iBT® Home Edition のスコアシートの提出も認める。
英語を母語とし，英語スコアシートの提出免除を希望する志願者は令和 8 (2026) 年 12 月 18 日（金）までに機械・知能系教務担当へ必要提出書類について，個別に問い合わせること。</td><td rowspan="5">(1) 成績証明書の内容によって，筆答試験および面接を免除することがある。
(2) 各科目の出題範囲については以下のウェブサイトで確認すること。
https://www.mech.tohoku.ac.jp/examination/
(3) 電卓及び計算機能，通信機能のある時計や電話機などの持ち込みを認めない。

専攻照会先：
機械・知能系事務室教務担当
Email:kc-exam@grp.tohoku.ac.jp</td></tr>
<tr><td colspan="3">機械工学において必要とされる数学の基礎的知識を問う。
主たる範囲は以下のとおり。</td></tr>
<tr><td>数 学 A
（必答）</td><td>3 月 2 日（火）
9 時 30 分～10 時 30 分
(集合時間 8 時 50 分)</td><td>微積分，線形代数，ベクトル解析など</td></tr>
<tr><td>数 学 B
（必答）</td><td>3 月 2 日（火）
13 時 00 分～14 時 00 分</td><td>常微分方程式，偏微分方程式，フーリエ級数・変換，ラプラス変換など</td></tr>
<tr><td>面　接</td><td>3 月 3 日（水）
又は
3 月 4 日（木）
(集合時間は専攻より指示する)</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">量子エネルギー工学専攻</td><td>英　語</td><td></td><td>TOEFL iBT®, TOEIC® Listening & Reading 公開テストまたは IELTS-Academic module のスコアシートを出願時に提出すること。
TOEFL iBT® Home Edition のスコアシートの提出も認める。
英語を母語とする学生は，出願前に問い合わせること。</td><td rowspan="5">(1) 成績証明書の内容によって，筆答試験及び面接を免除することがある。
免除対象となる受験生には個別に連絡する。
(2) 各科目の出題範囲については以下のウェブサイトで確認すること。
https://www.qse.tohoku.ac.jp/admission/admission_graduate.html
(3) 電卓及び計算機能，通信機能のある時計や電話機などの持ち込みを認めない。
(4) 専門科目の選択，筆答試験及び面接の言語（日本語または英語）を出願時に申告すること。試験時に申告と異なる選択はできない。

専攻照会先：
機械・知能系事務室教務担当
Email:kc-exam@grp.tohoku.ac.jp</td></tr>
<tr><td>数 学 A</td><td>3 月 2 日（火）
10 時 00 分～11 時 30 分
(集合時間 9 時 30 分)</td><td>微積分，線形代数，ベクトル解析</td></tr>
<tr><td>数 学 B</td><td>3 月 2 日（火）
13 時 00 分～14 時 30 分</td><td>常微分方程式，偏微分方程式，フーリエ級数・変換，ラプラス変換</td></tr>
<tr><td>専門科目</td><td>3 月 3 日（水）
10 時 00 分～11 時 30 分
(集合時間 9 時 30 分)</td><td>流体力学，電磁気学，量子力学，材料力学，放射線基礎
以上の５科目から２科目を選択。</td></tr>
<tr><td>面　接</td><td>3 月 4 日（木）
(集合時間は専攻より指示する)</td><td>入学者としての適性</td></tr>
</table>

専　攻	試験科目	試験日時	試験内容	備　考
電気エネルギーシステム専攻 電通電子工学専攻 信工学専攻	英　　語		TOEFL iBT®または TOEIC® Listening & Reading 公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT® Home Edition のスコアシートの提出は認めない。	(1) 成績証明書の内容によっては，筆答試験を免除することがある。 (2) 各科目の出題範囲については，専攻に照会するか，あるいはウェブサイトで確認すること。 https://www.ecei.tohoku.ac.jp/ecei_web/admission/ (3) 電卓及び計算機能，通信機能のある時計や電話機などの使用を認めない。 専攻照会先： 電子情報システム・応物系 事務室教務担当 (TEL) 022-795-7186
	基礎専門科目	3 月 2 日（火） 9 時 40 分～12 時 10 分 (集合時間　9 時 00 分)	電磁気学，電気回路，計算機ハードウェア，計算機ソフトウェア，物理，数学基礎の 6 題から 3 題選択。	
応用物理学専攻	英　　語		TOEFL iBT®, TOEIC® Listening & Reading 公開テストまたは IELTS-Academic module のスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT® Home Edition のスコアシートの提出は認めない。	特別な事情がある場合は，下記照会先に相談のこと。
	基礎科目	3 月 2 日（火） 9 時 30 分～11 時 45 分	力学，電磁気学，量子力学の 3 問。	電卓及び計算機能，通信機能のある時計や電話機などの使用を認めない。 専攻照会先： 電子情報システム・応物系 事務室教務担当 (TEL) 022-795-7186
	専門科目	3 月 2 日（火） 13 時 00 分～14 時 30 分	統計力学，物性物理の 2 問。	
	面　　接	3 月 3 日（水） (集合時間は専攻より指示する)		

専　攻	試験科目	試験日時	試験内容	備　考
応用化学専攻 化学工学専攻 バイオ工学専攻	英　　語		TOEFL iBT®またはTOEIC® Listening & Reading 公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT® Home Edition のスコアシートの提出は認めない。 英語を母語とする志願者は，個別に問い合わせること。	成績証明書の内容によっては，筆答試験を免除することがある。 専攻照会先： 化学・バイオ系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7205 専攻ウェブサイト： http://www.che.tohoku.ac.jp/index-j.html
	基 礎 科 目	3月2日（火） 本学化学・バイオ工学科卒業（見込）の者： 180分 他系，他学部，他大学の者： 135分	無機・物理化学（化学結合論，平衡と速度），有機化学（構造，物性，反応），生物化学（構造，機能，代謝），化学工学（量論，移動現象論） ただし，本学化学・バイオ工学科卒業（見込）の者：上記の４題必答。 他系，他学部，他大学の者：上記の４題の中から３題選択。	
	専 門 科 目	3月3日（水） 180分	①無機・物理化学（結合・構造論，反応論，物性論）３題 ②有機化学（物理有機化学，有機合成化学，高分子化学）３題 ③生物化学（生体機能化学，応用生物化学，生体情報化学，生物物理化学）４題 ④化学工学（反応工学，機械的単位操作（レオロジーも含む），分離工学，プロセスシステム（制御も含む））４題 以上の４分野１４題の中から４題選択。ただし，２分野以上から選択のこと。	
	面　　接	3月3日（水） （実施時間は専攻より指示する）		

専　攻	試験科目	試験日時	試験内容	備　考
材料システム工学専攻 知能デバイス材料学専攻 金属フロンティア工学専攻	英　　語		TOEFL iBT® または TOEIC® Listening & Reading 公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT® Home Edition のスコアシートの提出は認めない。 英語を母語とする志願者は，個別に問い合わせること。	(1) 成績証明書の内容によって，筆答試験を免除することがある。 (2) 電卓の持込みを認めない。 (3) 日程等については個別に連絡する。 ＊詳細については専攻に問い合わせるか，あるいは以下のウェブサイトで確認すること。 http://www.material.tohoku.ac.jp/admission/index.html 専攻照会先： マテリアル・開発系事務室 教務担当 (TEL) 022-795-7373
	数　　学	3 月 2 日（火） 60 分	微分・積分，常微分方程式 線形代数（ベクトル・行列・行列式），ベクトル解析，複素関数論，フーリエ級数・フーリエ変換，ラプラス変換など	
	専 門 科 目	3 月 3 日（水） 120 分	物　理：質点・剛体の力学，電磁気学，振動・波動など 化　学：原子・分子の構造，化学結合，化学反応，化学熱力学，有機化学基礎など 材料化学：材料物理化学，材料電気化学，移動現象論，金属精錬・精製学，応用材料化学，材料プロセス工学など 材料物性学：結晶回折学，固体物性学，材料強度学，材料組織学，電子材料，磁性・誘電材料，材料設計など 材料加工学：材料力学，連続体力学，材料試験，鋳造・粉体・塑性加工，溶接・接合，材料評価学，加工解析学など 以上５科目５題（各科目１題）から任意に３題を選択	
	面　　接	3 月 2 日（火）～ 3 月 4 日（木）		

専　攻	試験科目	試験日時	試験内容		備　考
土木工学専攻	英　　語		TOEFL iBT®またはTOEIC® Listening & Reading 公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT® Home Edition のスコアシートの提出は認めない。		(1) 電卓・辞書及び計算機能や通信機能を有する機器類の使用は認めない。 (2) 成績証明書の内容によっては，基礎科目及び専門科目を免除することがある。 (3) 過去の入試問題・出題範囲等は，以下のウェブサイトを参照すること。 https://www.civil.tohoku.ac.jp/admission/index.html (4) 面接の日時・場所，試験時の注意事項等は専攻から通知する。 (5) 出願手続き前に，あらかじめ志望する分野の受入れ予定教員に相談すること。 (6) 詳細は専攻に照会すること。 専攻照会先： 人間・環境系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7489
	小 論 文	3 月 2 日（火） 9 時 30 分～11 時 00 分	土木工学関連のテーマ		
	基礎科目	3 月 2 日（火） 13 時 00 分～14 時 00 分	以下の４問から２問を選択すること。 微分積分（１問），線形代数（１問）， 確率統計（１問），生物・生態学（１問）		
	専門科目	3 月 2 日（火） 15 時 00 分～16 時 00 分	以下の３科目（社会基盤デザイン学，水環境デザイン学，都市システム計画学）から１科目を選択し，選択した科目内の２問を選択すること。 社会基盤デザイン学：構造工学（１問）， コンクリート工学（１問），地盤工学（１問） 水環境デザイン学：水理学（１問），河川工学（１問），水質工学（１問），環境計画（１問） 都市システム計画学：計画数理（１問）， 交通計画（１問），交通工学（１問）		
	面　　接	3 月 2 日（火） 又は 3 月 3 日（水）			
都市・建築学専攻	英　　語		TOEFL iBT®またはTOEIC® Listening & Reading 公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT® Home Edition のスコアシートの提出は認めない。英語を母語とする志願者は，個別に問い合わせること。		(1) 志願講座毎に試験科目及び試験日時が異なるので注意すること。 (2) 電卓，辞書の使用は認めない。 (3) 共通科目の出題内容及び専門科目の過去の入試問題は，本専攻のウェブサイトを参照のこと。 http://www.archi.tohoku.ac.jp (4) 出願手続き前に，あらかじめ志望する分野の受入れ予定教員に相談すること。 専攻照会先： 人間・環境系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7489
	共通科目	3 月 3 日（水） 10 時 30 分～12 時 00 分	都市・建築デザイン，都市・建築計画，建築史，建築環境・設備工学，建築材料，建築構造について基礎的知識を問う4問を出題		
	専門科目	3 月 3 日（水） 13 時 30 分～16 時 30 分	都市・建築デザイン学講座	設計製図	
			都市・建築計画学講座	建築計画，都市計画，建築史に関する問題を各１～３問程度出題	
			サステナブル空間構成学講座	建築環境・設備工学，建築材料学，建築構造学に関する問題を各１～３問程度出題	
			建築構造工学講座	建築構造力学，鉄骨造，RC 造，振動論，建築防災工学に関する問題を各１～３問程度出題	

専　攻	試験科目	試験日時	試験内容	備　考
技術社会システム専攻	英　　語		TOEFL iBT®または TOEIC® Listening & Reading 公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT® Home Edition のスコアシートの提出も認める。	(1) 成績証明書の内容によって，筆答試験の一部を免除することがある。 (2) 口頭試問の日時・場所は，専攻より別途通知する。 専攻照会先： 技術社会システム専攻事務室 (TEL) 022-795-3863 専攻ウェブサイト： https://www.most.tohoku.ac.jp
	小　論　文		一般常識及び本専攻がカバーする専門分野とそれに関する社会問題を題材とした小論文によって，本専攻での修学にふさわしい論理的思考力，表現力，基礎学力を有しているかを評価する。 出願者に別途，選択式のテーマを送付するので，指定の期日までに提出すること。	
	口頭試問	3月2日（火）～ 3月4日（木）	小論文の内容について発表。小論文と発表の内容に対して試問を行う。また，基礎学力，及び入学後の研究分野の適性についても評価する。 口頭試問の時間は1人あたり 30 分程度である。	